

兵庫医科大学 研究実施のお知らせ

本学で実施しております以下の研究についてお知らせ致します。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	房室結節回帰性頻拍における Koch 三角における電気解剖学的特徴 [倫理審査受付番号：第 4701 号]
研究責任者氏名	峰 隆直
研究機関長名	兵庫医科大学 学長 鈴木 敬一郎
研究期間	2024 年 5 月 20 日～ 2024 年 11 月 30 日
研究の対象	以下に該当する患者さんを研究対象とします。
	疾患名：頻脈性不整脈に対して心臓電気生理学的検査を受けた患者さん 診療科名：循環器内科
	受診日：西暦 2023 年 1 月 1 日～実施許可日以前
研究に用いる 試料・情報の種類	カルテ情報（診療の過程で取得）
研究目的・意義	心臓電気生理学的検査では、マッピングシステムを用いた高密度マッピング（不整脈の電氣的回路を、詳細に心臓の形態と電気信号により流れを表示するシステム）が行われています。本研究は、研究対象に該当する方の Koch 三角領域（ヒス束、冠静脈洞開口部および三尖弁輪を頂点とする領域）内における房室伝導（心房から心室への伝導）をマッピング画像やカルテ情報を用いて解析し、房室結節回帰性頻拍を発現する患者さん・発現しない患者さんの違いを調べることで電気解剖学的特徴を明らかにすることを目的にします。本研究で電気解剖学的特徴が明らかとなれば、その特徴を有する患者さんに予防的カテーテルアブレーション治療を行い、房室結節回帰性頻拍を予防できる可能性があります。
研究の方法	カルテ情報から臨床データ（症状、年齢、性別、既往歴、不整脈種類、併存心疾患、併存症、併用薬剤、身長、体重、NYHA 分類、など）および brain natriuretic peptide (BNP:脳性ナトリウム利尿ペプチド)、トロポニンを含む血液一般生化学検査結果、心電図および心エコー図検査より得られたデータを取得します。実施済みの電気生理学的検査で高密度マッピングが使用されており、そのデータを使い、心電図から心拍数（心拍間隔）、QRS 幅（すべ

	<p>での心室筋が脱分極を完了するまでの時間)、脚ブロック(心臓の右脚または左脚と呼ばれる部分を通過する電気刺激が部分的または完全に遮断される伝導障害)の有無およびタイプを調べます。心エコー図検査項目より左房経、左房容量、左室壁厚、左室拡張末期径、左室収縮期径、左室駆出率、E波、Deceleration time:減速時間、E/e'比。心臓電気生理学的検査における使用したカテーテルの種類、治療内容、房室結節における遅伝導路(slow pathway)と速伝導路(fast pathway)および室房伝導(心室から心房への伝導)の有無、高密度マッピングによる遅伝導路(slow pathway)への伝導有無、伝導路の幅、遅伝導路(slow pathway)流入部から房室結節までの距離を調べ房室結節回帰性頻拍の有無で比較調査します。</p>
個人情報の取扱い	<p>収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。</p>
本研究に関する連絡先	<p>診療科名等：循環器内科 担当者氏名：峰隆直 [電話] (平日 8:30~16:45) 0798-45-6553 (上記時間以外 当直医) 0798-45-6111</p>